

# 8月の生活表

2023年 8月

聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：祈りあう

保育日数（18日）

月目標：＜3歳児＞

- ・どこにいても共にいてくださる神様に信頼して祈る。
- ・いつもとは違う人との関わりや環境を通して興味関心が広がる。
- ・暑さや涼しさ等を感じながら、夏ならではの経験をする。

＜4・5歳児＞

- ・自分を取り巻く世界を知り、繋がりを感じ、平和に生かされていることを神様に感謝し、互いに祈り合う。
- ・普段とは違う生活や自然に触れ、感じたり考えたりすることを通して新たな関心が芽生え、遊びが広がる。
- ・ゆったりした時間の中で、家族や保育者と絵本、物語を楽しむ。

今夏は7月に入って漸く蝉の大合唱が聞こえてきました。やはり日本の夏には蝉が似合いますね。蝉って、カメムシやタガメと同じ仲間なんですよ。1600種類もあるそうですが、全種類揃っての合唱にはなりませんね。そんなに沢山の種類の中でも、日本では30種位がポピュラーなのだそうです。とはいえ、私たちがよく知っている蝉は、1 アブラゼミ 2 ミンミンゼミ 3 クマゼミ 4 ニイニイゼミ 5 ツクツクボウシくらいですよ。夏の終わりには綺麗なひぐらしの声で、ゆく夏を惜しみます。それぞれに与えられた特性です。さあ父母は、この蝉の鳴き初めからひぐらしまでの間にどんなことを経験させてあげましょうか。教科書も宿題もない日々に、こんなことは如何でしょうか。

- ・早寝早起きして、朝いちのお散歩は如何ですか。
- ・時間をゆったり使って、いっぱい本を読んであげてくさいませんか。
- ・時間を考えて、近くの公園でおうちの方と一緒に遊んでみませんか。

（縄跳び・ボール遊び・サッカー・ヨーイドンの走りっこ・鴨川での水遊びetc.）

- ・お風呂に一緒に入って、数を数えながら浸かり、ピチャピチャと楽しく遊んでみませんか。親御さんとお子さんで体を洗いっこしてみませんか。
- ・子どもたちの成長に大切なのは、家庭の日々の生活から始まります。楽しんでできるお手伝い、誰かのために役立つお手伝いをさせてあげてくさいませんか。
- ・自分でやってみたいことを見つけて自分で考え、取り組めるような物に出会えるように、その場その時を大切に、根気よく取り組める経験をさせてみませんか etc.

幼児期の夏休みは、ゆったり過ごせる貴重な体験の日々のはずです。今しなければならぬことは何かを見つめ直し、大人は子どもの心身共の成長をしっかり捉えてあげましょう。今しかない、じっくり関わってあげたい気持ちを大切に、9月の二学期を元気に迎えましょうね。皆様にはこの一学期間にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

## 《チャレンコーナー》

年主題：つながって ～今、わたしを生きる。～

年聖句：8月月間主題：祈り合う

月聖句：わたしは雲の中にわたしの虹をおく。（創世記 9：13）

今月の聖句は、旧約聖書に記された「ノアの方舟」物語の終盤に記されています。「ノアの方舟」の物語は...まだ世界と人類が創られて、さほど時間が経っていなかったある時、ノアという人が居ました。彼とその家族は信仰深く、まことの神を信じ、正しいことを行っていました。その他の人々は、神から離れ、墮落し、悪の道を歩んでいました。ある日、神様は地上から悪を一掃するため、人類を滅ぼすことを決められました。ただノアの家族と、地上の動物の一部とを、新しい世界の基とするため、ノアに命じて方舟を造らせ、それに乗せ、大雨を降らし、大洪水をおこしました。洪水の後、水の引いた地面にノアたちは降り立ち、新しい世界を造り始めました...

洪水の後、ノアたちが最初にしたのは、神様にお祈りすることでした。その時神様は、空に虹を出し、御自分と人類との新しい契約の印とされました。その契約とは、「二度と人類や生き物を滅ぼすことはしない」というものでした。それ以来人類は、虹を見るたび、神様の契約を思い起こし、自らの身を正し、神様からの日々の恵みに感謝するのです。

虹はきれいで幻想的です。7つの色が空に浮かぶと、感激します。私たちは虹を用いて、喜びや希望を表現してきました。性的少数者の方々の人権運動には、虹の色を描いた旗やポスターなどが用いられます。また、異なる民族や様々な背景を持つ人々と、共に生きていく決意を示すのに、虹がもちいられることもあります。虹は私たちに、新たな道を歩む勇気を与えてくれるようです。

私たちが、みんなの幸せをお祈りするとき、神様は天から見守ってくださいます。その印が虹なのかもしれません。

## おたんじょうび おめでとうございます

### <生活指導>

☆夏休み中の事故に気をつけましょう。

- ・歩行中・自転車乗車中・横断歩道を渡っている時・一人でお買い物に行く時・車の乗降時・信号の確認・前後左右の確認を子ども自身に気付かせましょう。

☆どんな時にも、いつでも周りの危険を感じ、俊敏な動きができるように、常日頃から心と身を鍛えましょう。

☆心身共に健康で楽しい夏休みを過ごしましょう。

- ・一学期に身につけた生活習慣を崩させない様に気をつけてあげましょう。
- ・酷暑の中、不要不急の外出は控えましょう。特に小さいお子さんのバギー、歩行等反射熱の被害予防、またプールは熱中症への落とし穴、特に気を付けましょう。
- ・汗をかいた後、自分でも気付くように、着替えもこまめに、暴飲暴食を避け、自分自身で身を守る術を親子で考えましょう。
- ・幼稚園でのお祈りの習慣を保てるようにしてみましょう。

(ありがとう・ごめんなさい・お守りください・お願いします)の言葉を通して、家族はもとより、お友達やご親戚、また新聞やニュースで報道される内容などにも触れて、お祈りの時を持ってみましょう。

☆今年の夏！ 親子で何に取り組もうと計画されていますか？

- ・子どもが自ら興味関心を示し、取り組み、考え、試行錯誤して挑戦し、満足感から自信につながるように。また最後まで根気よく取り組めるような十分な時間を共有し、計画を立てて過ごしてみましょう。
- ・特に緑組は、宿題という課せられた課題なく過ごせるのも、今年限りですね。大いにお楽しみください。思い出作り(この遊びを通して何を経験させたいのか?)に、子どもさんの意見も取り入れて考えましょう。

### <クラス担任より>

#### [花組]

神様のお歌『聖歌』が大好きな花組さん。毎日毎日お礼拝で歌いますが、一生懸命に身振り手振りで歌詞を表現しながら、とても楽しそうに歌う姿を見ていると、忙しさの中にゆったりとした時間が流れて、心から笑みがこぼれます。

《夏のお楽しみ会》では、残念ながらお休みになってしまったお友だち。沢山のお客様に小さな胸がドキドキではちきれそうになったお友だち。後ろに座ってくださったお母さんの存在が嬉しくて嬉しくてたまらなかったお友だち。普段通りに過ごしていたお友

だち。ゲーム大会では沢山の弾ける笑顔が見られました。どの姿も、みんなそれぞれの精一杯で、花マルです！今日の姿が積み重なって子供たちは今日より明日！と、自分の今必要な成長の道を歩んでいます。でも、その一步一步は一人一人歩幅も違う、速度も違います。子供たちの「今」にしっかりと気づき、目を向け心に添ってあげたいと思います。

さあ！明日から夏休み！ワクワクしますか？何をして子供たちと遊ぼうかな？どんな思い出を作ってあげようか！と意気込んでいらっしゃると思います。長い夏休み、きっと...あっ！という間ですね。幼稚園の夏休みに宿題はありません！そう！沢山遊んで楽しむことが宿題かな？でも、お約束はあります。今日、園長先生のお話で子供たちはしっかりと聞いていますので、おたずねください。一番大切なお約束はいつも「お祈りしましょう」です。子供たちは、幼稚園で様々な思いを神様にお祈りしてきました。「赤ちゃんが無事にお生まれになりますように」「〇〇ちゃんのお熱が下がりますように」「妹の〇〇ちゃんが早く退院しますように」「大雨に遭われた人々をお守りください」等々...その日、神様にお祈りしたいことを。そして、必ずお祈りのはじめには「優しい天の神様、昨日の夜も私たちをお守りくださいましてありがとうございます」という感謝の言葉を神様に伝え（話す）ます。「新しい朝」が毎日やってくるのは当たり前ではありません。この上ない幸せなことで、毎日子供たちとお祈りが出来ることはなんと幸せなことなのだと私達は自覚し続けなければなりません。今こうして夏休みに思いを馳せている間にも、世界では戦争や紛争で多くの人々が傷つけ合い、様々な傷を負っている。私たちの力は一人一人小さいけれど、神様にお祈りすることは出来ます。小さな手を組み合わせる子供たちとその日その時の思いや出来事を分かち合い、お祈りの時をお持ちいただけたら幸いです。

最後になりましたが、保護者のみなさまにおかれましては、一学期の間、日々の幼稚園生活にご理解くださり、また園行事等にご協力くださいましたことに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。どうぞご家族のみなさまも、今年も酷暑・猛暑となりましょう、体調を崩されませんようにご自愛くださいませ。良い夏休みをお過ごしくださいませ！

## 【赤組】

「みなさま、ようこそおいでくださいました！」ちょっぴり照れながら、けれども可愛らしいお声、そして堂々とした表情と姿勢でご挨拶をしてくれて、2023年度の「夏のお楽しみ会」が開始致しました。沢山の皆様の方々がお越し下さり、最後まで共に楽しい時間を過ごせたことを感謝致します。赤組になって初めての行事で、花組の時とは違う気持ちが子供なりに芽生え、心身ともに成長できたと思います。冒頭にて触れましたが、始めのご挨拶を園児を代表して赤組の女の子が担ってくれましたが、ある日の練習で口ごもってしまいました。周りの子供たちが後ろから一緒に言ってくれて、席へ戻ると悔しくて涙が。そして練習の最後にもう一度挑戦すると、言えたのです。ここで嬉しかったのは他の子供たちが自分のことのように喜び大きな拍手を

送っていたことでした。また、遊びの途中でも不意にご挨拶の言葉を独り言のように言い出すと周りの子どもたちも一緒になって言い始めました。きっと子どもたちなりに「頑張れ！」と応援の気持ちもあってのことだととても嬉しく思いました。行事を通しての成長はこういった日常にも関連しお友だち同士の繋がり、一人ひとりの思いも自然と育っていくものですね。また、子どもたちなりに「お客様を招く」ということも理解している様子でした。毎週末に行っている「週末大掃除」（雑巾掛け）をお楽しみ会前日に行いました。今まで「いつまでやるの～」と飽きていたお友だちもいましたが、前日は「ここ汚れてた！」「こんなに雑巾黒くなってる」「お客様が来るから綺麗にしとかないと！」とせっせとそこらじゅうを綺麗にしてくれていたのです。最後には「お掃除楽しいね」と笑いかけて言ってくれました。目的が明確で目に見えて成果が分かることは子どもの意欲を向上させ、この日は自分たちの大好きなお家の方々が来てくださる楽しみもあったからだだと思います。そんな子どもたちは本番、堂々と出欠確認のお返事をし、お歌も元気な声で楽しく歌い、リズムバンドもそれぞれの楽器の良さを出しながら鳴らしてくれました。合間のスキップでも花組さんが相手だとペースをゆっくりにして合わせる親切な姿も見て頂けたかと思います。緊張は最初だけ、あとは日常の姿が垣間見えた子どもたち。何より「しあわせ～！」と子どもたちが思える会になったことが私も幸せでした。暑い中お越し下さりありがとうございました。

新しいことだらけで大忙しだった4月。快晴続きで園庭で沢山遊べた5月。見て・聞いて・触って、五感をフル活用して作った七夕のお飾りを頑張った6月。そしてその3ヶ月で心も身体も成長し、お友達に目を向け始めたり、何より食事への意識が高まった7月。子ども自身が「自分で出来た」という経験を大事にしてきました。明日から夏休みです。猛暑も続くかと思っています。どうぞ健康に気をつけ、日々の生活習慣が乱れないようお過ごし頂きたいと思います。

一学期間、保護者の皆様には色々のご指導・ご協力頂きましてありがとうございました。至らぬ点多々あったかと思いますが、無事に一学期を終えられたこと、厚く御礼申し上げます。また二学期に元気いっぱいの子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

## [ 緑組 ]

夏休みを前に京都は猛暑日...そんな中でのコンコンチキチン...祇園祭。暑さの中何とか前祭りを終え、そして幼稚園も夏休みへ。しばらく全員が幼稚園に揃うことはありません。この夏にしか経験できない事、それぞれあるでしょうね。幼稚園では夏の間、プールそしてお昼寝のプログラムです。みんなでお昼寝するのも毎年楽しい休憩の時間になっています。家族でお出掛けもあるかもしれませんね。いずれにしても、「幼稚園の夏休み」は今年最後です。皆さんにとって有意義な時間となりますように。そして、この1学期の結びにみんなで行った「夏のお楽しみ会」。当日は欠席の友達も

ありましたが、その友達の気持ちを考え、心細く不安もあったと思います。でも互いの信頼と助け合いが自然な形で「協力」できたことは、嬉しい成長の印でした。また、緑組の「自分の責任」を個々が実感した行事であったように思います。進級当初は「わたしもできる！」と、何かと主張することで張り合うことも多かった子どもたちですが、いざ、代わりのいない自分の役割を担うことは、思った以上に緊張と不安が募るものです。その気持ちを察することで、自ずと競い合うのではなく「一緒に乗り越えるための方法」を子どもたちは模索し、無事に乗り越えたときには「やったね！」と共に喜び合えるのですね。Instagramに投稿させていただいた、ハンドベルの練習風景。あれは子どもたちが「自分たちだけでやってみる！」と先生との練習を終えてから自分たちで取り組み始めた練習風景です。その前向きで、熱心で、意識の高さに驚きと感動を覚えると共に、映像の最後に「そういうこと！」と私の口癖までも再現されていることに恥ずかしさも覚えました。確かに5人というクラスは少ないです。でも、5人だからこそできること、5人だからこそ濃厚に「今」という時間を過ごしていることは言うまでもありません。この子たちが2学期、3学期と過ごす園生活の中で更にどんな成長を遂げていくのか、だんだん楽しみが増してきました。否を成しにこれからの幼稚園でのあらゆることが「最後」になっていきます。その意味をこの子どもたちはもう十分に理解しているに違いありません。だからこそ、「悔いのないように」を知らず知らずのうちに体現しているかもしれませんね。保護者の皆様には、日々の園生活にご理解、ご協力いただきましてありがとうございました。お家の方とのお話は、私にとっても大切に、楽しくも気づきと学びの時間です。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。そして、暑く長い夏の始まり...どうぞ皆様お身体ご自愛くださいませ。そして日焼けして一回り大きくなった子どもたちのお会いできることを楽しみにしています。